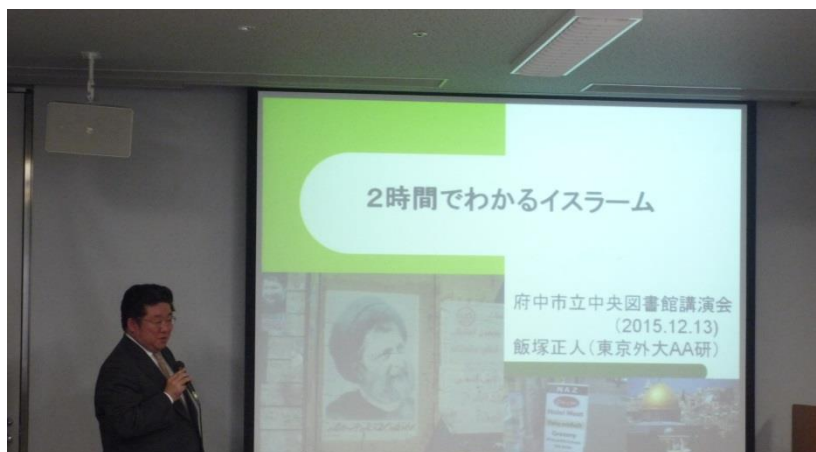


2015年12月13日（日）、中央図書館で東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所所長の飯塚正人教授による講演会「2時間でわかるイスラーム」を開催しました。



研究所所長の執務に加え、各所での研修や講演を行っている飯塚先生ですが、今回は、イスラームの思想や文化を中心にお話いただきました。



お話の導入として、イスラームの世界分布や国別のイスラーム教徒の人口などのご説明がありました。東南アジアでイスラーム教徒が多い地域がインドネシアまでとなっているのは、フィリピンがスペインの植民地であったことも要因、という興味深いお話もありました。

一神教の兄弟姉妹

預言者	啓典	信徒
モーセ	律法 (旧約聖書)	ユダヤ教徒
イエス	新約聖書	キリスト教徒
ムハンマド	クルアーン	ムスリム

+ヒन्दウー教&仏教
(インド征服時の決定)

*先輩の過ちを正すために選ばれたムハンマドとイスラーム！

イスラーム信仰の基本について、ユダヤ教やキリスト教と比較しながら、わかりやすくご説明いただきました。

ラマダーン月の断食

「ラマダーンの月こそは、人類の導きとして、また導きと正邪の識別の証しとして、クルアーンが下された月である。それであなたがたのうち、この月、家にいる者は、この月中、断食しなければならない。病気にかかっている者、または旅路にある者は、後で同じ日数を断食すること。神はあなたがたに易きを求め、困難を求めない。」
(クルアーン2章185節)

*ラマダーン月～イスラム暦の9月。2016年は6月7日頃から7月6日頃まで。夜明けから日没まで断食する

*クルアーン～イスラム教徒の信じる「神のことば」

ラマダーンはイスラーム教徒の果たすべき厳しい義務という印象がありましたが、飲食が許される日没後は大宴会になることがあり、ラマダーン月の肉の消費は通常時の数倍にもなることもあるそうです。



ラマダーン月の禁止事項について、このような説明を作っている国もあるそうです。イスラームではお酒は元々禁止であったような気もしますが…。



講演終了後も多くの方が熱心に質問されていました。
今回の講演で、イスラームが決してわかりづらいものではないことや教義などについても柔軟な解釈がなされていることを知ることができました。
図書館には飯塚先生の著書のほか、イスラームに関する本を多くそろえています。もっとイスラームのことが知りたい、という方はぜひ府中市立図書館までご相談ください。